

会報 京都マイコン研究会

第75号

(通算92号)

1993年10月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トピックス or ニュース

第3回情報リテラシシンポジウム

高度情報化社会における経営戦略と

企業内教育並びに技術動向

(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会

マイクロエレクトロニクス技術に基づく情報技術・情報通信技術の発展及びその広範な分野にまたがる情報機器の普及は、社会に大量の情報を流通させ、蓄積し、利用されるに至りました。

これら情報化の健全な発展のためには、これを支える人材の育成が不可欠であります。特に、情報システムの役割の変化、情報技術の革新等に伴ない、ユーザに求められる「知識」と「質」が高度化してきており、その質的向上が最大の課題となっております。

このため、情報化が産業分野のみならず、社会・生活の各分野に広く浸透しつつある現在、国民各層が情報を主体的に活用していく能力、すなわち「情報リテラシ」を身につけていくことが重要であると思われま

す。これらの現状から、社会、企業、学校等、様々な分野において、効果的に「情報リテラシ」の涵養を行なうとともに、情報の有効な利活用能力を持つことがユーザにおいても不可欠となってきております。

当協会は、これらの情報化社会の環境下において、情報の利活用能力の向上のための推進を図っておりますが、この一環として情報化時代の企業内教育と経営戦略並びに情報技術の利活用のあるべき方向性について、論じていただくためのシンポジウムを開催することに致しました。

日時 平成5年10月25日(月)シンポジウム 13:30~17:30

懇親会 17:30~19:00

場所 三田出版会 / (大阪市北区中崎西2-4-12)

参加希望者は連絡を

主催 社団法人パーソナルコンピュータ利技術協会

後援 通商産業省

協賛 情報処理振興事業協会 社団法人情報サービス産業協会

財団法人日本情報処理開発協会 財団法人コンピュータ教育開発センター

社団法人日本電子工業振興協会 社団法人日本システムハウス協会

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会

財団法人関西情報センター 財団法人大阪科学技術センター

会告 !!

1. 9月4日 (PM. 6:30) 例会報告

場所 大山崎ふるさとセンター

9月例会参加氏名

若林、中西洋、岩井

河原、圓口、若井

上田、中辻、増田

2. 内容

6:30~7:00 マイコンサロン

7:00~8:30 MS-Visual Basic

8:30~9:00 質問その他

★ 次回例会

開催日 10月2日 (土)

場所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM. 6:30~

例会サロン 予告

某雑誌の付録DISKから、ビジュアルな電子の紙芝居で解説がありましたので、紹介します。次のような内容です。

3. 5インチHDDの内部構造解説
- ページプリンタ (レーザプリンタも含む) の解説
- パソコン用ワープロ「一太郎、松」の歴史

当日、カラーノート・パソコンとTV接続コンバータを岩井様に必ずご持参下さることを願っています。

プロフィールの紹介は加藤氏の都合により次号に期待してください。

PCVANからの拾いネタ

★ 98ノートパソコン B5版発売 ★

#9594/9612 ハードウェア

★タイトル (RBE96235) 93/ 9/22 0:37 (36)
B5サイズパソコン 来春発売される

本座 昭

★内容

乾電池OK、携帯便利

NECは来春にもB5判サイズの小型ノートパソコンを国内市場に投入する。

「サブノート」と呼ばれる計量タイプで、電源は乾電池が使え持ち運びに便利のほか、通信機能も付加する。機能は現行のノートパソコンと同じだが、価格は二十万円以下に抑える予定。IBMなどが販売しているA5判のサブノート機より操作性を高める。B5判パソコンはペン入力方式などが商品化されているが、NECはキーボード式の本格派で対抗する。パソコンの低価格競争が激化するなか、「新しいコンセプトで付加価値を高め売り込みを計りたい」(NEC)考えた。

本文

「サブノート」はノート型パソコンと手のひらサイズのパームトップ型との中間にあたる機種で、ノート型の使い勝手と携帯性を同時にあわせ持つ。

どこでも使えるように乾電池を電源に採用、重量は一・五キログラムから二キログラム以下にする計画だ。搭載するCPUや仕様の詳細は明らかになっていないが、LSIから順次、開発を進めているという。

価格は二十万円以下。ディスプレイは白黒で十インチに近いサイズを搭載し、将来はカラータイプも販売したい考えだ。

さらにICカードを挿入する事でVAN(付加価値通信網)やネットワーク対応にすることも可能。国内、海外の両市場で投入を検討している。

「サブノート」パソコンはIBMがA5判タイプを販売しているが、本格的な日本語対応機種はまだ出ていない。また現在のノート型は携帯性や重量などの面でユーザーの不満もある。

NECが開発中の新機種は現在主流のノートパソコン(A4判大)に比べ設置面積で三割ほど小型になり、A5判のサブノート扱操作性も高いという。

昨年からのパソコンの低価格競争が加速、NECでも対応機種を発売してきた。

同社では価格を下げるだけでなく小型・高性能を()にすることを考えて、「これからの低価格携帯パソコンはサブノートが主流になる」(同社)とみている。～△

日本経済新聞 9月20日 生活産業面

したがって来夏には現在のカラーノートパソコンの「値崩れ」と、サブノートを比べてサブマシンとして購入したいと思う。

(現在 9821AS U2) を使用中

備考 : 上の発言の文章に文字化けが多く読みづらいですが、自作の記事と同じときにDLしたので、私のマシンの不調ではありません。

B5版ノートパソコンは既に他社から出ているが、98ソフトが多い世の中では仕事するのに不便だし、日電から出たら欲しいと思っていた。ハード構成を早く発表しないかな。

★8インチフロッピー・IBMフォーマット情報★

#2500/2680 ソフトウェア

★タイトル (VQG49152) 93/ 9/ 9 10:14 (13)
オフコンデータ転換

★内容

オフコンと言うと、8インチフロッピーのIBMフォーマットという気がしますが、NECのN5200やPOSレジなんかでは、3.5インチや5インチでも、IBMフォーマットになっているようです。IBM-PCのフォーマットとは違います。

N5200というSIGのライブラリのOSLに、IBM形式のフロッピーディスクとMS-DOSフォーマットを相互に変換するプログラムがあります。

「XIBM141、LZH」と、その後のバグフィックスの差分などがあります。作者は、緒方達志さんという方だそうです。私はずいぶん前に、挨拶も何も無しにDLして使用しましたが、すぐ役に立ちました。緒方様、陰ながら、感謝しております……(って、読んでますかね?)

必要なドライブは、8インチの標準ドライブか、3.5や5インチの場合は2HDドライブで、普通のPC98用が使用できます。

西田利

#2501/2680 ソフトウェア

★タイトル (BHE00416) 93/ 9/ 9 17:35 (16)
RE2498>オフコン→パソコンデータ変換 YAPPON

★内容

茶菓さん、こんにちは。久々登場のYAPPONでございます。

私も勤務先のオフコンは、NECの3100シリーズ(の前の150VSもあります)ですが、オフコンにある納入先と製品のマスターデータをフロッピーディスクを介してパソコンに変換し、データベースソフトd BXLに読み込ませて様々な処理に活用しております。

使用している変換ソフトは、エージーテック社のJF-TRANで、オフコンで一般的なIBM形式のデ

ータをMS-DOS形式に変換してくれます。

また、オプションのDTCNVによって、オフコンから丸ごと変換してきたデータから、必要な項目を抽出したり並べ変えたりして、多くのパソコンソフトに読み込めるCSV形式等で出力することが可能です。

当方5年以上前に購入したソフトのため現在の価格・仕様は不明ですので、直接エージーテック社に問い合わせてもらえることをお勧めします。

3100シリーズは無くなるってホント?

YAPPON(PC-VAN:BHE00416) in Bingo-Tohjo.

#2502/2680 ソフトウェア

★タイトル (WWW02921) 93/ 9/ 9 17:48 (17)

RE:2498 3100のデータ変換

★内容

皆さん 初めまして。ROMばかりでしたが、私にも答えられそうな事がありましたので発言させていただきます。

NEC3100(オフコン)のデータコンバートの件ですが

1) ITOS(3100のOS)上では

「PC/ITOSファイル変換ユーティリティー」というのがありまして、これでDOSデータとできます。もちろんFDに落とせます。

又、

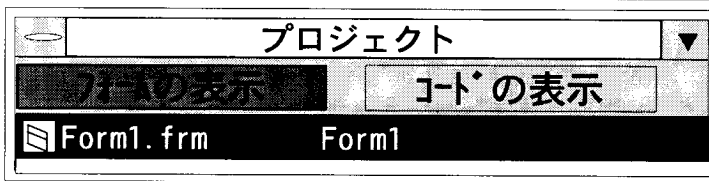
2) 3100上でPCサーバーが動いているなら「DATAWAY」というLOTUS123のアプリを経由して直接123のシートに取り込めます。

水瓶

備考 : 的外れかも知れないが、7月例会で若井征夫さんから発言があったので参考に転載しました。PC98が発売されたときに、DISKN88BASIC、MS-DOS、CP/Mのメディア変換するものが、有名な「システム・ソフト」から売られていた。このときは、3.5や5インチには対応して居なかった。

(Tomopy)

(from Tomopy)



Windows環境を構築されていない会員が大半の中で、この連載を続けるのが心苦しいです。でも、来年くらいは、VBを動かせる環境に全員がなるときを期待して続けたいと思います。そのことを念頭において、やさしい演題を毎回、繰り返して行います。

それでは、前回の回答と申し上げたいのですが、予告通り出来無かったので、次回の例会に皆さんの作品を発表頂き、それを紙面へ掲載したいと思います。

【岩井、増田両氏の作品に期待しています。(〃;)】

演習3. 国名から国旗アイコンを掲げよう。

ツールボックスの中のリストボックスを選んで、そのボックスに国名を複数以上、列挙し、実行したら、その国名をクリックしたときに、他のホーム・ウィンドウへ国旗が表示される。国旗の図柄はアイコンライブラリから選択する。

※ 出題者本人が、C言語によるROM化の仕事の重圧で発病、約2週間のダウンで模範回答(?)の時間が捻出出来ず、失礼しました。

おっおっおっおっ 「PC9821Af」系。

凄い、特ダネ。 岩井さんが、ペンティアムが搭載されたPC9821Afを手にいれたそうです。メインメモリが79.6MBまで付けられるのだ。まるで、WS以上の規模だ。速さは、何と、PC9821As(66MHz)の？倍だ。(下記参照) PC9801VX から見れば、巨人だ。

CPU 3倍、 Video 2倍、 Disk Access 2倍、 Ram Access 1.04倍

別のベンチマークでは、CAD/Draw が 9倍である。こんな早いマシンで、環境を構築するとき、各種デバイスの組込み時のエラー表示など、どうして見分けるのかな。Config.sys にいろいろと組込みたい欲を持つ人には、よいおもちゃのマシンですよ。

岩井さんから聞き漏らしたが、これにどんなモニタとアクセラレータボードを取り付けたのでしょうか。このマシンには、IBM近日発売の最新版「OS2」を乗せて貰いたいものですね。(締め切られたが、日電がβ版モニターを募集していた。)

それにしても、ケースも大きく、王者の貫禄を備えたマシンですよ。

(Tomopy)

一言メモ : PC98系へ周辺装置割り込みアドレスについて。

PC9801やPC9821などデスクトップタイプへHDD以外に、MO、CD-ROM、スキャナなどの周辺装置を接続する機会が多くなりました。特に、HDDも単価が下がり2台目を接続されることもあると思います。接続に際し、割り込みアドレスに注意しないと動かないことがあります。本体には下記のように割り当ててありますから、使用していない周辺機器のアドレスを選んで設定すると良いでしょう。

- INT0 = 232C/FAXボード
- INT1 = CMT (カセット)
- INT2 = なし
- INT3 = SASI HDD I/Fボード
- INT4 = FDD I/Fボード
- INT5 = GPIBまたは サウンドボード
- INT6 = マウス

さらに、DMA転送の設定も考慮が必要。

- DMA0 = SASI HDD I/Fボード
- DMA1 = メモリフラッシュ (設定禁止)
- DMA2 = 1MB FDD I/Fボード
- DMA3 = 640K FDD I/Fボード

※ ハードに関する連載をしたいので、是非、質問をお寄せ下さい。(編集部より)

(Tomopy)

JS Windows対MS-Windowsについて。

一太郎Ver. 5登場によって、雑誌の売上がかなり上がったことでしょうか。どんなハードの環境のもとで動いているのか。一太郎愛好者からの解説を編集部からお願いしたい。

三四郎の登場で、花子とともにJS-Windowsの統合環境が出揃った。これで、通信LAN環境が出来上がると「JS王国」が誕生だ。何時まで、MS帝国主義に対抗できるか、西暦2000年頃が楽しみだ。

(Tomopy)

編集後記

今月号の発行はどうなることやらと、考えさせられる事がありました。編集部長の河原さんより、只今入院中との突然の電話に。連載のMS-Visual Basic その他の情報の連載など、今までほとんど河原さんの知的資産にたよっていた事が、私たち会員の為なのだろうか、皆んなが集まって創り上げた意見や情報をまとめ、解説や文書の構成をするのが本来の編集というものでは？会の発展を目指す編集部でありたいそのための努力はいくらでも。責任はバッチリの河原さんでした。会の基本理念の一考を…。

(N.M)